

国際文化研究科 日本文化専攻 ディプロマ・ポリシー

博士前期課程では、グローバル社会を学術的に認識するとともに、日本研究の資料を扱う専門的能力を磨き、人類の将来像に照らした諸課題の発見や実践的提言ができる研究力の獲得を目指している。

博士後期課程では、日本研究の高度な専門性に裏づけられ、社会の第一線で活躍できる学知力の獲得を目指している。

| | 博士前期課程 | 博士後期課程 |
|-----------------------------------|---|---|
| ① 専門的知識・能力 | 日本研究の基礎となる資料の収集・読解・分析の能力を身につける。 | 日本研究の基礎となる資料の収集・読解・分析の能力を身につけ、共同研究の組織者にもなりうる能力を身につける。 |
| ② 研究課題を発見し設定する力 | 日本社会の現実問題との関係で研究課題を探究し、問題意識と研究課題を結びつける能力を身につける。 | 日本社会の現実問題に照らして研究課題を発見し、問題意識に即して課題設定する能力を身につける。 |
| ③ 仮説を立て研究方法等を構築する力 | 研究史と研究素材を検討し、研究方法を自ら選択・遂行する能力を身につける。 | 研究史と研究素材を検討し、自覚的に選択した方法を錬磨しつつ研究する能力を身につける。 |
| ④ 他人を納得させることができるコミュニケーション能力や情報発信力 | 授業等での共同討論に貢献できる発言力を身につける。研究報告や研究論文の内容を保証する文章力を身につける。 | 授業等での共同討論を率先する発言力を身につける。研究報告や研究論文の高い質を保証する文章力を身につける。 |
| ⑤ 幅広い視野を持って日本文化を研究する力 | 過去から現在への視点と、国際社会の行方への視点とを合わせ持ち、自らの研究に生かす能力を身につける。「グローバル時代」の実態を学術的に見極めるとともに、多文化・多言語への視野を身につける。 | 過去から現在への視点と、国際社会の行方への視点とを合わせ持ち、自らの研究に生かしかつ社会に発言する能力を身につける。「グローバル時代」の実態と本質を学術的に見極めるとともに、多文化・多言語への視野によって新たな世界像を考える能力を身につける。 |
| ⑥ 倫理観 | 学問への尊敬を自覚しつつ知的創造活動を自立させ、人類の平和的な共存に貢献する能力を身につける。 | 学問への尊敬を自覚しつつ知的創造活動を自立させ、人類の平和的な共存に貢献する能力を身につける。 |